

平成 30 年 7 月豪雨災害にかかる兵庫県支部の活動について

日本赤十字社兵庫県支部

1. 災害の状況について

6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で豪雨が発生しました。7月6日から7月8日の間に特別警報の運用開始以来で最多となる計11府県で大雨特別警報が発表され、全国で11府県61市37町4村に災害救助法が適用されました。全国で死者222名、心肺停止2名、行方不明者17名となり、7月16日20:00現在（首相官邸発表）で214か所の避難所で4,712名（ピーク時は27,000人以上が避難）が避難生活を送っています。また32,909棟の住家が全半壊や床下・床上浸水等の被害を受けています。

2. 日赤災害医療コーディネートチーム・こころのケア調整班の派遣について

兵庫県支部では、隣接県である岡山県に日赤災害医療コーディネートチーム（以下 CoT）を派遣し、行政及び医療保健関係機関との連携を図り、ニーズの調査や各地から集まってくる医療チームの活動エリアの割り振り等の調整本部業務を行っています。

また、ニーズが高まってきている被災者の「こころのケア」を複数の機関で共同して効果的に行うため、こころのケア調整班を派遣しました。

派遣期間	救護班	主な活動場所
7/8～7/11	日赤災害医療コーディネートチーム (神戸赤十字病院2名、支部事務局1名)	高梁市役所、倉敷市保健所（現地本部）、 日赤岡山県支部
7/14～7/16	こころのケア調整班 (神戸赤十字病院1名、支部事務局1名)	倉敷市保健所（現地本部）
7/16～7/19 【活動中】	日赤災害医療コーディネートチーム (神戸赤十字病院3名)	日赤岡山県支部、岡山県庁、 倉敷市保健所



○医療チームの派遣先を調整する CoT



○朝のミーティングで派遣先を救護班に伝達

3. 救護班の派遣について

医療救護班を岡山県南西部の被害が大きかった地域（高梁市・倉敷市）に派遣し、活動拠点本部の調整の下、避難所の巡回診療等の活動を行っています。

派遣期間	救護班	主な活動場所
7/8～7/10	兵庫県支部救護班第1班 (姫路赤十字病院 8名)	高梁市内避難所、倉敷市内避難所
7/9～7/10	兵庫県支部救護班第2班 (神戸赤十字病院 5名、支部事務局 1名)	倉敷市内（二万小避難所、昭和公民館）
7/18～7/21 【活動中】	兵庫県支部救護班第3班 (姫路赤十字病院 9名、支部事務局 1名)	倉敷市内



○避難所で手当をする救護班



○岡山県職員と避難所内を巡回する救護班（二万小体育館）



○姫路赤十字病院救護班出発式（第1班）



○神戸赤十字病院救護班出発式（第2班）